

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束は廃止するべきと全スタッフで理解しているが、委員会メンバーも含めスタッフの知識や認識が低く、何が拘束にあたるのか共通認識が出来ていない。又、日常のケアの中で「ちょっと待って」と声をかける事が多い。	身体拘束に対して知識を深め、全スタッフ間で統一した共通認識がもてる。	身体拘束委員会が中心となって身体拘束についての勉強会の企画、実施を2ヶ月に一度行う。又、身体拘束廃止委員会議を毎月実施し一般スタッフも参加し共通認識を図る。	12カ月
2	35	避難訓練は定期的実施されているが、災害時の話し合いが行えておらず、訓練に参加したスタッフのみの知識となっている事が多い。特に夜間(少人数)や移動の難しい入居者の避難手順に不安を感じている事が多く情報の共有が出来ていない。又、各スタッフの防災意識が薄い。	全スタッフの防災意識が向上し自主的な防災活動に取り組める。得た情報や知識をスタッフ間で共有し統一した実施ができる。	3ヶ月に1度、防災についての話し合い(会議)を設け、色々な状況を想定したロールプレイングを行う。	12カ月
3	49	入居者からの外出要望は多いが定期的な外出支援が行われていないことが多い。散歩などの気分転換に留まっている。	要望にそった外出支援が行える。	入居者から外出要望を確認し3ヶ月毎に計画をたてながら実施していく。	6カ月
4					カ月
5					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出して下さい。(提出必須)